

【 島原城・ 歴代城主と主な出来事 】

代	城主名	就任年	主な出来事
①	松倉 重政	1616(元和2)～	島原城・島原城下町築造(1618年～)
②	松倉 勝家	1630(寛永7)～	島原の乱(1637～8)
①	高力 忠房	1638(寛永15)～	高力氏浜松より入城。乱後の立て直し
②	高力 隆長	1655(明暦1)～	失政で領地没収(1669)
1	松平 忠房	1669(寛文9)～	松平氏福知山より入城
2	松平 忠雄	1698(元禄11)～	「島原大概様子書」作成(1707)
3	松平 忠倪	1735(享保20)～	三十番神堂建立(1736)
4	松平 忠刻	1738(元文3)～	ハゼの木10万本植栽(1744)。下松宿で急死
5	松平 忠祇	1749(寛延2)～	幼少につき宇都宮へ転封
①	戸田 忠盈	1749(寛延2)～	戸田氏宇都宮より入城
②	戸田 忠寛	1754(宝暦4)～	宇都宮へ転封
6	松平 忠恕	1774(安永3)～	再び松平氏入城。寛政の大地変(1792)
7	松平 忠馮	1792(寛政4)～	大地変後の復興に尽力。藩校・稽古館創立(1793)
8	松平 忠侯	1819(文政2)～	医学校・済衆館創立(1821)
9	松平 忠誠	1840(天保11)～	太吉漂流しメキシコから帰国(1846)
10	松平 忠精	1847(弘化4)～	ロシア艦隊長崎入港、島原藩出兵(1853)
11	松平 忠淳	1859(安政6)～	島原へ赴任できず、16歳で病死
12	松平 忠愛	1860(万延1)～	17歳で病死
13	松平 忠和	1862(文久2)～	徳川慶喜の弟。最後の島原城主

(近・現代)

1869(明治2)年	版籍奉還
1876(明治9)年	島原城天守閣取り壊し
1913(大正2)年	島原鉄道開通(諫早・島原湊間)
1934(昭和9)年	日本最初の雲仙国立公園
1937(昭和12)年	島原城天守閣復元期成会発足
1960(昭和35)年	西の櫓復元
1964(昭和39)年	天守閣復元
1972(昭和47)年	巽櫓復元(西望記念館)
1980(昭和55)年	丑寅櫓復元、時鐘楼復元

島原の乱(キリシタン弾圧を語る)

数々のキリシタン関連遺産がある、南島原市の南有馬、原城跡。この地は世にいう「島原の乱」ゆかりの地として知られています。

島原藩主松倉氏のキリシタン弾圧に対し、天草四郎時貞率いる3万7千人のキリシタンが一揆を起こしたのは、寛永14年(1637)のこと。この原城で、農民たちの悲惨な最期によって一揆は終結を迎えました。

現在は、土塁と堀跡をわずかに残すのみ、本丸跡に立てられた十字架と、まだあだけない天草四郎の像が当時の苦衷をしのばせています。かたわらには“母”の一字が残る四郎の墓や戦死した兵士を弔う骨かみ地蔵、そして点在するキリシタン墓碑などが、当時の信仰の強さと激しさを物語っています。

寛政の大地変(島原大変)

「火砕流」という言葉を一躍有名にした普賢岳噴火災害。しかし島原市はこれに上回る大災害を過去に被っていたのです。今から約200年前の寛政4年(1792年)、大音響とともに襲った大地震によって、城下町の背後にそびえる眉山が突如崩壊、3億立方メートルを超える土砂が人家や田畑を埋め尽くすとともに、有明海へ向かって崩れ落ちました。この衝撃によって巨大な津波が発生し、対岸の肥後・天草(熊本県)へ襲いかかりました。さらに返し波が島原半島の沿岸18か町村へ再度来襲して、広域災害の様相を呈しました。津波による被害を含む死者約1万5千人は、未だに記録に残る最大の火山災害です。

島原アクセスマップ Shimabara Access map



交通アクセス

- 島原港－熊本港……………超高速フェリー／約30分、フェリー／約60分
- 島原港－大牟田(三池)港……高速船／約50分
- 島原－福岡……………高速バス／約3時間
- 島原－諫早－福岡……………島原鉄道／(急行)約50分、JR／(特急)約1時間45分

見どころ満載!!

島原観光スポット

The impressive spots in Shimabara



鯉の泳ぐまち

「鯉の泳ぐまち」は地域住民の方々によって美しくたれ、紅白、三色、黄金等の錦鯉が清冽な流れの中で泳ぐさまは水の都島原のみどころの一つとなっています。



芝桜公園

2.2haの敷地に咲き誇る25万株の芝桜が織りなす花模様は圧巻です。(開花シーズン4月)



ぶけやしき 武家屋敷

現在、保存されている下の丁の武家屋敷は、山本邸、篠塚邸、島田邸の3軒が一般に無料開放され、当時の武家生活の様子が偲べれます。通路の中央に清冽な清水の流れる水路は、旧藩時代に生活用水として大切に守られてきました。



しめいそう 湧水庭園 四明荘

湧水を利用して造られた住宅庭園。透明な池に泳ぐ鯉と庭園に目を奪われます。国の登録記念物。



ありあけ 有明の森フラワー公園

夏はマリーゴールド、サルビアの花が咲き乱れ、秋にはサルビアに加え、30万本のコスモスが一面ジュタンを敷きつめたように美しい。雲仙普賢岳(平成新山)をバックに素晴らしいロケーションが自慢の公園です。



雲仙岳災害記念館

愛称は「がまだすドーム」。雲仙普賢岳の噴火活動による自然の脅威と被災体験を次世代に伝えることを目的とする施設です。ハイテク技術を駆使した体験コーナーがあります。

お問い合わせ

一般財団法人 島原城振興協会

〒855-0036 長崎県島原市内1丁目1183-1
TEL 0957-62-4766

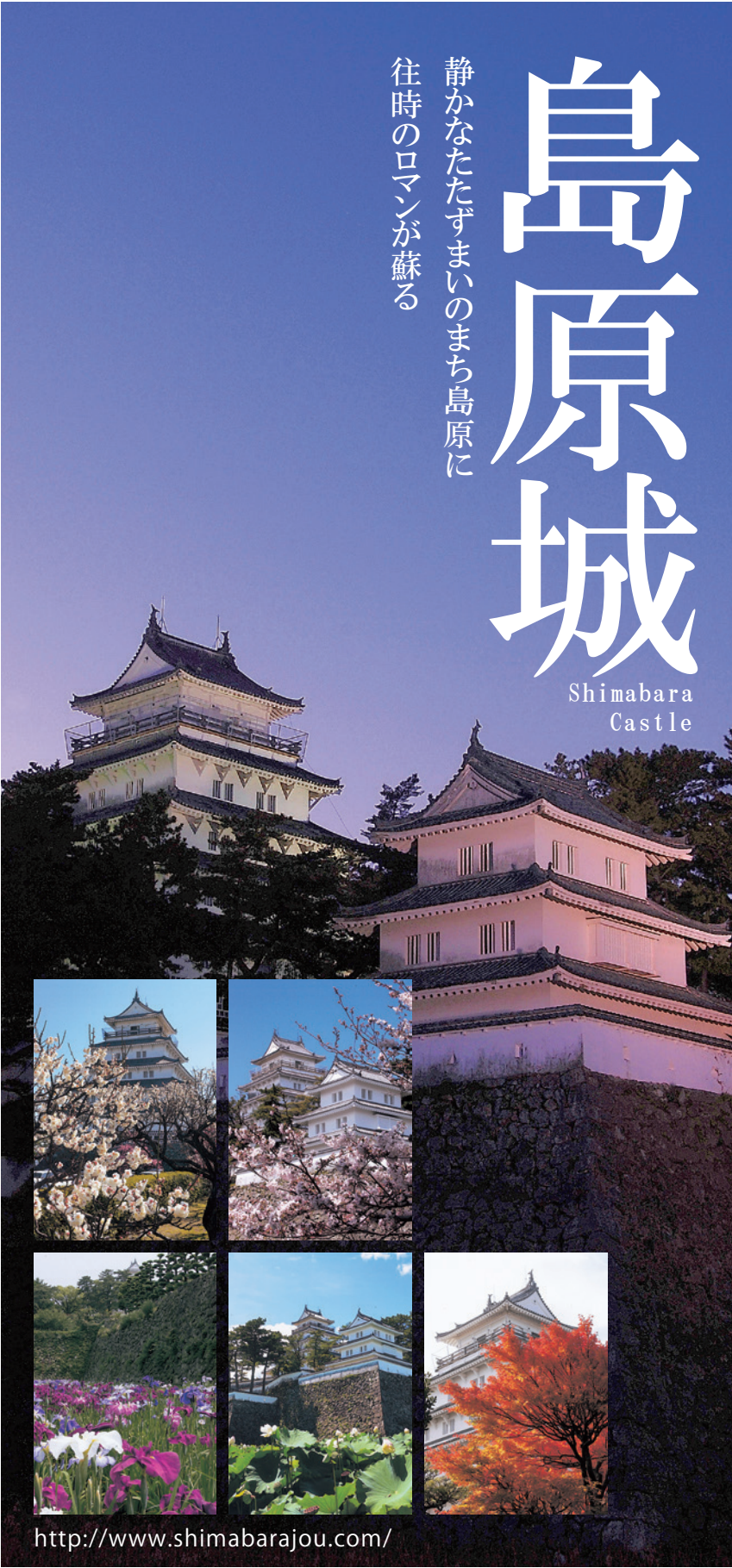
島原市産業部

しまばら観光おもてなし課

〒855-0045 長崎県島原市上の町537
TEL0957-63-1111

URL <http://www.shimabarajou.com/>

共通入館料		
(天守閣・観光復興記念館・西望記念館 三館共通入館料)		
大人	540円	小・中・高生 270円
団体(30人以上)は個人の2割引		
開館時間 9:00～17:30		
駐車料金		
一般車両	320円	大型バス 1,080円 小型バス 540円



<http://www.shimabarajou.com/>

安土・桃山様式の
壮麗な面影を残す島原城



島原城の歴史

この地は森岳といい、有馬晴信が本陣を構えて佐賀・龍造寺隆信軍を撃破したところ。この瑞祥の地に、五条(奈良県)から入封した松倉重政が島原城を築きました。1618(元和4)年着工、4～7年の歳月を経て完成。同時に島原城下町も整備したといひます。

層塔風総塗込の五層の天守閣を据える本丸。北へ二の丸と三の丸を配置して、要所を三層櫓で固め、外郭は4キロにわたって矢狭間をもつ練堀で取囲みました。4万石の大名には過分な城です。ここに有馬氏時代からの海外貿易の利益と、松倉氏の新興大名としての意気込みが見られます。

以来、松倉氏・高力氏・松平氏・戸田氏・再び松平氏と4氏19代の居城として輝きました。その間、1637(寛永14)年島原の乱では一揆軍の猛攻をしのぎ、1792(寛政4)年島原大

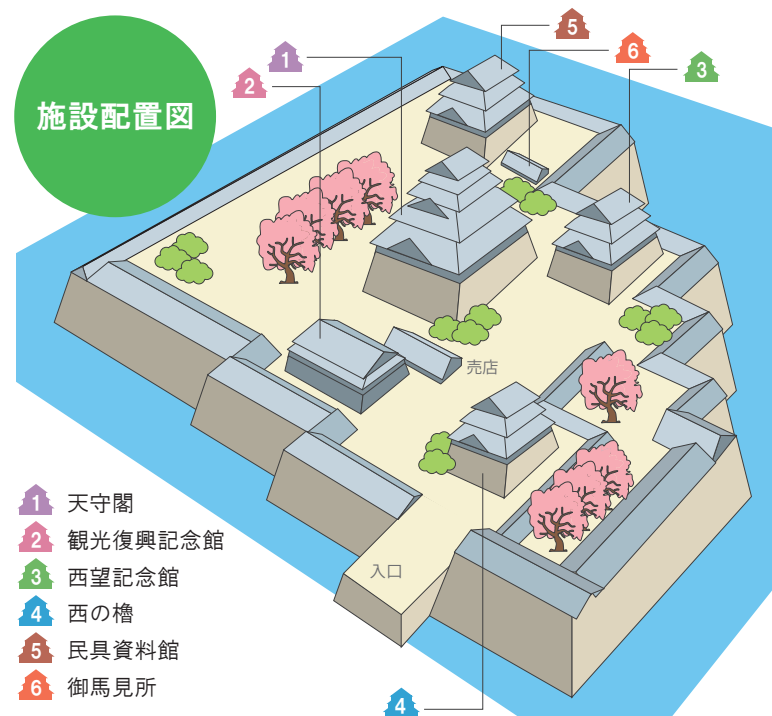
変時には打続く地震と足下を洗う大津波にも耐えてきました。明治維新で廃城になり、崩下り・解体されましたが、島原市民の夢である御城復元への取り組みが長年続きました。

1964(昭和39)年天守閣が復元するなど、次第に昔の面影を取戻しつつあります。

往時のロマンあふれる 島原城内

施設案内

築城以来250年にわたる島原藩の歴史遺産や郷土が誇る芸術家北村西望氏の作品、1990年に噴火活動が始まった平成新山の資料など過去から現在の島原を知ることができます。



4 西の櫓

全国の名城画などを展示

日本タオルに描かれた日本全国のお城の絵や各県の特徴あるさまざまなこけしを展示しています。



1 天守閣

華やかだったキリシタン文化などの文物を展示 【キリシタン史料(1F)】

島原の乱にまつわる数多くの史料が島原城天守閣内に展示してあります。

藩主や島原城関係の文物を展示 【郷土史料(2F)】

松平家家宝の神気・神息の太刀を始め、数々の藩主や島原城関係の文物を展示しています。

郷土の庶民生活の文物を展示 【民俗史料(3F)】

当時の庶民生活に密着した懐かしい昔のものを多数展示しています。



マリア観音像



象牙製マリア像



天草四郎肖像画



クルス絵模様の丼



キリシタン鐙



島原藩札



コレジオ祭壇十字架



禁制の高札



殿様の鎧



島原の歴史ある街並みを360度満喫 【天守閣・展望所(5F)】

島原市内や眉山、海の向こうには、熊本の山々を展望することができます。

5 民具資料館

昔の道具がたくさん!

明治、大正、昭和の暮らしが偲ばれる、なつかしい民具の数々を展示しています。



6 島原城 御馬見所

城内での藩士の訓練状況を見る視察所として使われていました。江戸時代から残る貴重な建物で、国の有形文化財に登録されています。



2 観光復興記念館

島原の観光名所・文化・歴史がまるわかり!!

噴火活動の経過をはじめ、島原の歴史・文化・観光名所などを映像及び資料で紹介しています。



映像ホール

200インチのワイドスクリーンで、噴火活動の経過などを紹介する内容を15分程度上映しています。(120人収容)



展示ホール

・普賢岳噴火災害の歴史
・今回の噴火災害の実態(溶岩ドーム模型)
・島原半島の観光案内
・災害義援活動の紹介

3 西望記念館

郷土出身、日本彫塑界の巨匠の作品を展示

日本彫塑界の巨匠で、文化勲章を受章した郷土出身の芸術家、北村西望氏の米寿を祝して、代表作約60点を展示した他に類のない彫塑芸術の施設です。



上:平和祈念像の原型
右:天草四郎
下:日蓮上人



しまばら温泉不知火まつり



毎年10月中旬の土・日に開催される島原半島最大の秋まつり。土曜の夜には、城内で幽玄の世界へ誘う「島原城薪能」が上演されます。(入場無料)
翌日曜には、祭の華である、歴史文化市中パレードが催され、勇壮な「武者行列」や「天草四郎らの仮装パレード」、島原の伝統芸能を披露する「踊りパレード」などが行われ、約2,000名の市民が参加します。

※日程等問い合わせ
しまばら温泉不知火まつり実行委員会
(島原市しまばら観光おもてなし課内)
TEL0957-62-8019